

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
キャリアデザイン1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	長浜和久 金井高広 草間巧			実務 経験	有	職種					
担当教員紹介											
長濱：放送業界で製作業務に従事していた ディレクター・プロデューサー 草間：放送業界でカメラマンをしていた TBSドラマ チーフカメラマン											
授業概要											
この科目を受講する学生は就職活動やプレゼン能力、グループワークなどのスキルを身につけ「社会人基礎力」を向上させることがねらいである。さらに、スキルチェックブックを使用し、自らの性格や能力を自己判断をして、これからの目標を立てることで学生の「人間力」の向上を図ることがねらいである。											
到達目標											
学生が日々活動している社会の中で自分自身に何が不足しているのかを理解をさせ、今後の目標を立てることで自己の意識を高めていく。業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解することを学ぶ。社会に出てから活動するために必要な能力を具体的にイメージし、自らが行動に移していく事で「社会人基礎力」「人間力」の向上を図る。											
授業方法											
この授業では、個人ワークやグループワークを取り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業での行動を通じて、学生の「社会人基礎力」「人間力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようにすることを目指す。											
成績評価方法											
試験・課題	30%	課題毎に提出									
成果発表	20%	授業内容の理解度を確認する為に実施									
平常点	50%	出席率、積極的な授業参加度によって評価									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験できない。											
教科書教材											
授業内容によって資料配布を行う。 参考書・参考資料等は授業中に指示をする。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション(1) 学校の仕組み、学科の仕組み、実習の仕組み、注意事項、実習室の使い方を理解する										
第2回	オリエンテーション(2) 自己紹介や1年間の目標を掲げ、クラスでのコミュニケーションを図る										
第3回	オリエンテーション(3) 実習時の注意事項、実習部屋について理解する										
第4回	スキルチェックブックについて(1) スキルチェックブックを使い自己分析をして自己を理解する										
第5回	スキルチェックブックについて(2) さらに細かな自己分析で自己を理解して、目標を立てる										

2022年度 日本工学院専門学校	
放送芸術科	
キャリアデザイン1	
第6回	スキルチェックブックについて(3) 目標を達成するのにどのような行動をしていくのか考える
第7回	社会人としてのマナー(1) 社会人としての作法、言葉遣い、各種マナーのスキルを養う
第8回	社会人としてのマナー(2) 社会人としての作法、言葉遣い、各種マナーのスキルを養う
第9回	社会人としてのマナー(3) 就職活動についてのマナー、履歴書の書き方、面接の仕方などスキルを養う
第10回	社会人としてのマナー(3) 就職活動についてのマナー、履歴書の書き方、面接の仕方などスキルを養う
第11回	合同企業説明会に向けて(1) J-naviの使い方、求人票の見方について
第12回	合同企業説明会に向けて(2) 面接トレーニング
第13回	就職活動ナビ(1) 就活DVDを見ながら企業面接トレーニング
第14回	就職活動ナビ(2) キャリアサポートセンタースタッフによる公開面接模擬
第15回	まとめ 目標を達成できたのか確認し、新たな目標を立てる